

グランドオープン記念 企画展

海を渡って来た 馬文化

— 黒井峯遺跡と

群れる馬 —



復顔像
初公開

1500年のときを超え...

甲ヨロイを着た古墳人
今ここによみがえる!!



2017年
9月30日 | 土 | 11月26日 | 日

Gunma Prefectural Museum of History

群馬県立歴史博物館

開館時間 9時30分～17時(入館は16時30分まで)

休館日 毎週月曜日(10月9日(月)は開館、10月10日(火)は休館)

観覧料 一般800円(640円) 大高生400円(320円) 中学生以下無料

* ()内は20名以上の団体割引料金

* 障害者手帳等持参者とその介護者1名は無料

主催 群馬県立歴史博物館

会場 群馬県立歴史博物館企画展示室

共催 釜山広域市立福泉博物館 群馬県教育委員会

公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

〒370-1293 群馬県高崎市綿貫町992-1

TEL 027-346-5522 FAX 027-346-5534

<http://gfhk.pref.gunma.jp>

海を渡って来た馬文化 - 黒井峯遺跡と群れる馬 -

当時最速の乗り物だった馬とその文化は、古墳時代に朝鮮半島より伝わりました。5世紀後半には群馬県域にも渡来人によって馬文化がもたらされ、やがて当地域は全国でも有数の馬の生産地となります。奈良時代、上野国の中心地であった「クルマ」郡は、名称に「群馬」の漢字二字が当てられて群馬郡となり、近代に至って県名の由来となりました。

本展覧会では、国家や地域社会の形成の動力となった馬文化の起源を探る上で欠かせない資料を一室に集め、東国、そして群馬県域への馬文化の到達のダイナミズムを東アジア的な視点で描きます。



I 倭人と馬の出会い

新開1号墳 (滋賀県栗東市)
鉄地金銅透彫鏡板付轡
滋賀県立安土城考古博物館蔵
【国指定重要文化財】



III 「群れる馬」の姿を追う - 黒井峯遺跡とその周辺 -

群馬県太田市高林町
埴輪 人が乗った馬
群馬県立がんセンター蔵
【太田市指定重要文化財】

II 馬生産のひろまり 注目! - 畿内から東国へ -

よみがえれ! 古墳人プロジェクト
甲ヨロイを着た古墳人の人骨公開
及び復顔像初公開



左: 金井東裏遺跡 (群馬県渋川市) 1号人骨
群馬県教育委員会提供

IV 東アジアの馬飾り - 金属工芸の至宝 -

藤ノ木古墳 (奈良県斑鳩町)
金銅製棘葉形杏葉
文化庁蔵/奈良県立橿原考古学研究所附属博物館保管
【国宝】



V 律令社会への歩みと 東国の馬文化

■ 韓国からの主な借用品

末山里3号墳	方形鏡板付轡	国立金海博物館
玉田28号墳	金製垂飾付耳飾	国立晋州博物館
福泉洞23号墳	千字形鏡板付轡	国立釜山大学校博物館
福泉洞10-11号墳	轡	釜山広域市立福泉博物館
池山洞44号墳	千字形鏡板	国立慶北大学校博物館
玉田35号墳	轡	国立慶尚大学校博物館
鷄林路14号墳	鐘形杏葉	国立慶州博物館

剣崎長瀬西遺跡 (群馬県高崎市)
金製垂飾付耳飾
高崎市教育委員会蔵
【群馬県指定重要文化財】



剣崎長瀬西遺跡 (群馬県高崎市)
鉄製轡
高崎市教育委員会蔵
【群馬県指定重要文化財】

背景: 黒井峯・西組遺跡復元模型 (国立歴史民俗博物館蔵/当館保管)

関連イベント

■ 館長講演会

9月30日(土) 13:30~15:00
「海を渡って来た馬文化」
講師: 右島和夫 (群馬県立歴史博物館 館長)

■ 特別講演会及び鼎談

10月1日(日) 13:30~16:00
「5・6世紀の朝鮮半島と倭」
講師: 洪 潜植氏
(韓国 国立公州大学校 教授 前 福泉博物館 館長)
通訳: 高田貴太氏 (国立歴史民俗博物館 准教授)
鼎談
洪 潜植氏
(韓国 国立公州大学校 教授 前 福泉博物館 館長)
右島和夫 (群馬県立歴史博物館 館長)
通訳: 高田貴太氏 (国立歴史民俗博物館 准教授)

■ 特別シンポジウム

「海を渡って来た馬文化」
10月22日(日) 12:00~16:00
パネラー:
青柳泰介氏 (奈良県立橿原考古学研究所 調査第一係長)
諫早直人氏 (奈良文化財研究所 研究員)
高田貴太氏 (国立歴史民俗博物館 准教授)
コーディネーター:
右島和夫 (群馬県立歴史博物館 館長)

■ 第6回古代東国文化サミット関連行事

11月19日(日) 13:30~15:00
「木曾馬から探る古代馬の生態」
講師: 中川剛氏 (木曾馬の里・乗馬センター 飼育・調教総括)

■ ギャラリー・トーク

学芸員による展示解説
(全5回、14:00~15:00)
10月7日(土)、10月15日(日)、
11月3日(金・祝)、11月18日(土)、11月25日(土)

■ 連続講座

第1回: 10月8日(日) 13:30~16:00
「金井遺跡群の調査と馬文化」
講師: 徳江秀夫氏
(公財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 専門調査役
「古墳時代豪族の地域経営と馬生産の導入
~上毛野を例に~」
講師: 若狭徹氏 (明治大学文学部 准教授)
第2回: 10月15日(日) 13:30~16:00
「黒井峯遺跡等から見た古墳時代馬の生態」
講師: 石井克己氏
(元 渋川市教育委員会 文化財保護課長)
「古代「群馬」の馬」
講師: 前澤和之氏
(上野三碑世界記憶遺産登録推進協議会 委員)
第3回: 10月28日(土) 13:30~15:00
「古人骨からよみがえる金井に生きた人々」
講師: 舟橋京子氏
(九州大学大学院 比較社会文化研究院 講師)
第4回: 11月5日(日) 13:30~15:00
「“甲を着た古墳人”はどんな顔?
~復顔像が語る古墳人骨の秘密~」
講師: 戸坂明日香氏 (株式会社A-Lab 復顔師)
第5回: 11月11日(土) 13:30~15:00
「馬生産から見た古墳時代の伊那谷」
講師: 渋谷恵美子氏 (長野県飯田市教育委員会 主事)

■ 各イベントは事前に電話予約が必要です。

電話番号: 027-346-5522
予約期間: 9月1日(金)より開始、各イベント前日まで受付。
受付時間: 9:30~16:30 ※但し休館日は除きます。
定員: 144名 (先着順、定員になり次第予約受付は終了)
会場: 視聴覚室 (入室は開始1時間前から)

「古墳時代甲冑着身体験」、「木曾馬ペーパークラフト」など関連ワークショップも同時開催



交通のご案内

(電車の場合) ■ 東京方面から 上越新幹線・北陸新幹線 東京~高崎約1時間、高崎線 上野~高崎・倉賀野・新町 約1時間50分 (バスの場合) ■ JR高崎駅東口から「昭和病院行き」約25分、「中居団地・群馬の森コース(下り)」約26分 ■ JR倉賀野駅から「昭和病院行き」約9分 ※いずれもバス停「群馬の森」下車 (自動車の場合) 上信越自動車道: 藤岡IC から約10分、関越自動車道: 高崎ICから約15分、高崎玉村スマートICから約8分、北関東自動車道: 前橋南ICから約15分

県立公園群馬の森

群馬県立歴史博物館

Gunma Prefectural Museum of History

〒370-1293 群馬県高崎市綿貫町92-1
TEL 027-346-5522 FAX 027-346-5534 <http://grekisi.pref.gunma.jp>